



芽が出て、葉が出て、花が咲く！



第1学年

文林学芸発表会④

引き続き、みなさんの作文です。お互いにどんなことを感じ、考えたのか、文章を読んで知りましょう。

僕が文林学芸発表会で一番頑張ったのは歌だ。歌詞を覚えてから練習をした。しかし、歌詞の間違いが目立った。それから自信をもって歌えなくなってしまった。

三年生と一度だけ練習する時があった。三年生のソプラノは声が高く、同じパートとして尊敬する存在だ。「先輩は心から音楽を楽しんでいる。だから笑顔なんだ。」と先生が言っていた。また一つ課題が増えた。それは笑顔で歌うということだった。体育館などで練習をして頑張って笑顔で歌う努力をした。ただ、笑顔で歌うのも疲れてきてつらくなってしまった。自分は笑顔より感情を入れる方がいいと思ったからだ。今歌っている自分は、どのような気持ちなのかを表現した方がよいと思ったからだ。顔の表情も大事だが、歌も大事だ。

ある体育館練習の時のことだ。パートごとに集まった時、先生が「声が小さい。もっと自信をもって歌え。」と言っていた。先生は、「間違いは恥ずかしくない。」と言ってくれた。この言葉をいつも心のどこかにしまっておき、歌っている時に思い出してより大きな声を出した。先生からのアドバイスは今後も心に残っていくだろう。

こうした二つの課題を乗り越えるように努力を続けていた。

ついに本番。歌う前に歩いていると、震えていた。舞台にのぼる時も震えていた。なぜだ。心の中は落ち着いていたのに。歌を歌い終わった後も震えていた。しかし、全校合唱では緊張しなかった。少し慣れてきたからだと思う。(中略)

僕は、学芸発表会で一つ学んだことがある。それは心一つにすることだ。心一つにすることがたくさんあった。自分に関わることで、歌、展示、ブース発表、演劇があった。自分のことだけでもたくさんある。日常生活でも、心一つに協力し合えば、何でも乗り越えられるはずだ。だから、今後は小さなことでも心一つにし、協力し合い、精一杯やり遂げることを目標にしていきたい。

ついにこの日がきた。「学芸発表会」という名の特別な会が。待ちに待ったこの日、僕は前日の夜、思ったよりも緊張せずあっさり眠りについた。僕は、クラスの代表に選出され、舞台上で八ヶ岳について発表することになった。そのため、日々練習を積み重ねてきた。また、ブース発表のとき、展示する作品などの装飾も頑張った。しかし、いくら練習しても舞台発表はできればやりたくなかった。なぜなら、僕は発表するのが苦手で、しかも大衆の前ではかなり緊張するからだ。

(中略)そして本番を迎えた。自分の番が近づくと鼓動が高鳴った。しかし、なぜか本番直前になると、急に緊張がほどけた。そこで、一気にやる気が出て、練習ではしなかったことを本番ではした。クイズで誰かを指名するのだ。そこで僕は近藤君を指名した。そして笑いをとるために、わざと間違えるよう言った。そうしたら、思った通り笑いがとれた。そして発表は成功の幕で閉じられた。

そして歌では、みんなの歌声がそろいとても大きな声で歌っていたのでよかった。2年生の歌を聴いて、少ないのに僕たちと同じくらいの大きさで歌っていてすばらしいと感じた。3年生の歌を聴いた時は、自分のパートをしっかりと歌えていて、さすが先輩だと思った。

私は、文林中学校での初めての学芸発表会だったので、とても緊張しました。やることもたくさんあり、大変でしたがいい思い出になりました。

10月初めから合唱や舞台発表の練習が始まりました。(中略)演劇部は、1学期から練習していて、全員が集まって練習することは少なかったけれど、個人ではしっかり練習をしていました。しかし、主人公の役をやり、劇の最後を締めるので、プレッシャーが大きく、不安でした。

そして本番当日。合唱では、しっかり音程をとれ、今までで一番大きな声で歌うことができました。全校合唱では、3年生の声がとても大きく、私も負けないように思いっきり声を出して歌いました。みんなが一つになったような気がしてよかったです。1年総合では、やはり人がたくさんいて緊張していたのか、早口になってしまいました。ゆっくり話そうと思ったのですが、なかなかできませんでした。ですが、最後まで一生懸命やっていて、全員で終わらすことができたのでよかったです。

そして、午後の部最初で最後の発表、演劇では、とても緊張していて不安でした。劇が始まってセリフを言っているとだんだん緊張の糸がほどけてきて、練習通りだったけれど、それ以上に感情を入れて、役を演じることができました。少しセリフがとんでしまったところもあったけれど、最後のシーンまで精一杯演じられたのでよかったです。また、役者一人一人が主人公になっているみたいでした。

どの学年の展示も発表も一生懸命取り組んでいて、とてもすばらしく、感動しました。初めての学芸発表会でしたが、最後まで全力で取り組みました。これはみんなと協力してできたものなので、これからもこのことを大切にしていきたいです。

僕が感動したことは、2つあります。1つ目は、3年生の背中です。理由は、3年生は、歌で僕たちに感動を与えてくれました。男子は力強い歌声で、女子は、涙を流しながら美しい歌声でした。先輩方の背中も、大きくかっこよく見えました。また、劇では、一つ一つの台詞がはっきり聞きやすく、目頭が熱くなりました。2年後には、僕らも3年生なので、先輩方の背中に追いつけるように頑張っていきたいと思います。

2つ目は、僕ら一年生の総合です。発表が近くなるにつれて、徐々に仲が深まり、意見がまとまりました。僕は、この機会を通してさらに友情が深まったと思いました。

2つのことから、みんなで協力し合い、準備を念入りにし、メリハリをつけた話し合いをすることで人を感動させることができると思いました。

